

# スマート インタラクティブ ホワイトボード

## 取扱説明書

AI TECHNOLOGY 株式会社

スマート インタラクティブ ホワイトボード.....	1
取扱説明書 .....	1
1. ホワイトボードの起動とスクリーンのオフ切替操作 .....	3
ホワイトボードの起動.....	3
スクリーンのオフ.....	4
2. 基本操作.....	5
クイック操作.....	5
ナビゲーションバーの表示 .....	5
コンパスメニューの表示 .....	6
共通ツール .....	7
電子ホワイトボード.....	13
ファイル管理 .....	17
スクリーン共有 .....	18
システム設定 .....	19
ネットワーク接続の設定 .....	19
基本設定 .....	21
詳細設定 .....	22
システムパラメータの設定.....	24
3. シャットダウン.....	26

# 1. ホワイトボードの起動とスクリーンのオフ切替操作pP

## ホワイトボードの起動

1. 電源コードを接続
2. 背面パネルの電源スイッチをオンにします
3. パネル右の電源ボタンを押下してホワイトボードを起動します。起動後、ホワイトボードはデフォルトでホーム画面を表示します。

図1-1 ホーム画面



## ホーム画面の説明

No.	説明
1	日付・時刻・曜日を表示します。
2	コンパス。アイコンをタップし、電子ホワイトボード、アノテーション、ファイル管理の機能を素早く使用できます。
3	デバイスステータスバー。異なる状態の情報を表示します。各アイコンをタップすると詳細が表示されます。
4	 をタップすると、ナビゲーションバーが表示されます。
5	入カソース。HDMIとWindowsをサポートします。
6	機能エリア。各機能のアイコンをタップすると、対応する操作画面に移動します。  サードパーティのアプリは、対応するアイコンをタップし続けることによりアンインストールできます。システムに最初から組み込まれているアプリは、この方法ではアンインストールできません。

## スクリーンのオフ

スクリーンがオンの場合、電源ボタンをオンにすることによりスクリーンをオフにできます。

以下の方法でホワイトボードを立ち上げることができます。

- 電源ボタンを再度押下します。
- スクリーンをタッチします。



Windows システムでは、スクリーンロック・パスワードを設定した場合、正しいパスワードを入力することによりホワイトボードを立ち上げます。

## 2. 基本操作

ホワイトボードはコンピュータ、TV、電子ホワイトボードとして使用できます。本項では、これらの機能の基本操作を紹介します。スクリーンの操作ではスタイラスペンを使用することを推奨します。

### クイック操作

ナビゲーションバー、またはコンパスを使用することにより、基本機能を素早く使用できます。

### ナビゲーションバーの表示

ホーム画面左右の  をタップすることで、ナビゲーションバーを表示できます。

図2-1 ナビゲーションバー



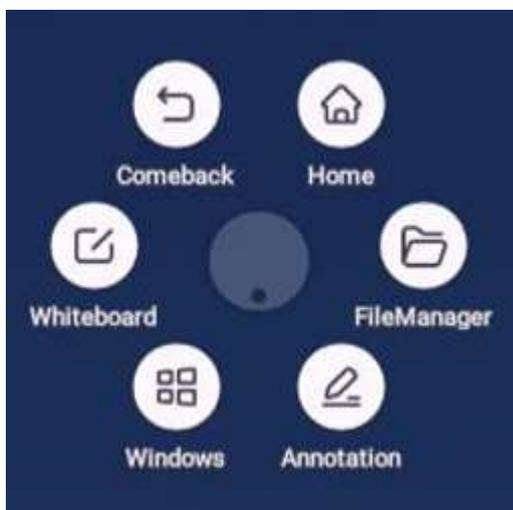
ナビゲーションバーの説明

アイコン	説明
	ナビゲーションバーの表示・非表示を切り替えます。
	前の画面に戻ります。
	ホーム画面に戻ります。
	アノテーション、画面共有、カメラなどの共通ツールを表示します。
	バックグラウンドで動作しているアプリを表示します。バックグラウンドのアプリは一つずつ、または、まとめて閉じることができます。

## コンパスメニューの表示

ホーム画面で  をタップすることにより、コンパスメニューを表示できます。

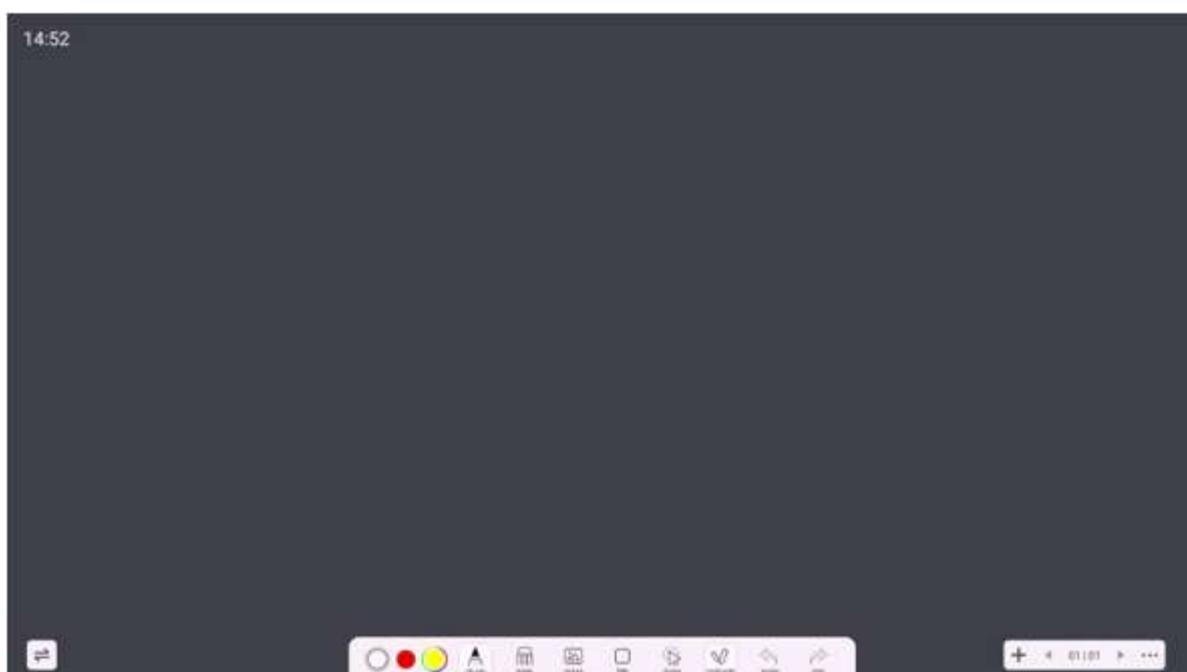
図2—2 コンパス



コンパスメニューの説明

機能	説明
Home	ホーム画面に戻ります。
Comeback	前の画面に戻ります。
Whiteboard	電子ホワイトボード画面に移動します。
Windows	コンピュータモジュールを接続している場合、このアイコンをタップするとWindowsシステムに切り替えます。
Annotation	アノテーションモードをオンにします。 <ul style="list-style-type: none"><li>● oily pen をタップするとペンの種類とサイズを選択できます。</li><li>● 書いた内容を消すには eraser をタップします。<ul style="list-style-type: none"><li>◇ eraser をタップして必要無い内容を消します。</li><li>◇ track eraserをタップし、必要無い内容を囲んで消します。</li><li>◇ slide clearをタップし、画面の全ての内容を削除します。</li></ul></li><li>● Saveをタップし、アノテーションを保存するパスを選択します。</li><li>● Exitをタップし、アノテーション画面を終了します。</li></ul>
File Manager	ファイルを管理します。

図2—3 アノテーション



### 共通ツール

1. ホーム画面左右の  をタップし、ナビゲーションバーを表示します。
2.  をタップし、共通ツールを表示します。

図2—4 共通ツール



共通ツールの説明

機能	説明
設定	設定 ページに移動します..
コメント	<p>コメントモードをオンにします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● oily pen をタップするとペンの種類とサイズを選択できます。</li> <li>● 書いた内容を消すには eraser をタップします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ eraser をタップして必要無い内容を消します。</li> <li>◇ track eraserをタップし、必要無い内容を囲んで消します。</li> <li>◇ slide clearをタップし、画面の全ての内容を削除します。</li> </ul> </li> <li>● Saveをタップし、アノテーションを保存するパスを選択します。</li> <li>● Exitをタップし、アノテーション画面を終了します。</li> </ul>
ワイヤレス投影	このアイコンをタップして、ワイヤレス画面共有機能を使用します。コンピュータまたは電話を介して、内容をホワイトボードに転送できます。
スクリーン ショット	<p>アイコンをタップすると、中央エリアがデフォルトで選択されます。矩形の四隅をドラッグすることにより、エリアの大きさを調整できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● をタップし、スクリーンショットをホワイトボードにインポートできます。</li> <li>● をタップし、画面全体をキャプチャします。</li> <li>● をタップし、スクリーンショットをキャンセルします。</li> <li>● をタップすると、スクリーンショットは年-月-日-時-分-秒.pngの名前でスクリーンショットフォルダに保存されます。</li> </ul>

<p>スキャン&amp;ゴー</p>	<p>アイコンをタップし、共有したいファイルを選択します。異なるタイプのファイルを選択できますが、フォルダは選択できません。単一のファイルのサイズは200MBを超えることはできません。OK をタップし、2個以上のファイルを転送用にzipファイルに圧縮します。QRコードの生成後、QRコードをスキャンしてファイルをダウンロードできます。または、QRコードの下のContinue to Selectを選択して、ファイル選択画面に戻り、さらにファイルを選択することができます。</p> <p>QRコードの暗号化をサポートします。ホワイトボードがWANに接続されている場合、QR共有機能は自動的にWANを使用します。ホワイトボードがWANに接続されていない場合、QR共有機能は自動的にLANに切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● LAN モード:ホワイトボード ホットスポットの名前とパスワードを表示します。ホットスポットに接続後、スマートホンのカメラアプリまたはブラウザを使用してコードをスキャンします。暗号化を有効にした場合、コードをスキャン後に認証パスワードの入力を求められます。認証に成功後に、ダウンロード画面が表示されます。</li> <li>● WAN モード:ホワイトボード ホットスポットの名前とパスワードは表示されません。暗号化を有効にした場合、スマートホンのカメラアプリまたはブラウザでコードをスキャン後、認証パスワードの入力が必要です。認証に成功後、ダウンロード画面が表示されます。</li> </ul> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ファイル共有には情報漏洩のリスクがあります。QRコードを安全に保管してください。</li> <li>● 選択されたファイルが同じ名前の場合、QRコードは生成できません。</li> </ul>
<p>プラットフォームにアップロード</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. このアイコンをタップ後、REGISTER をタップして、クラウド管理プラットフォームに登録します。サーバーのアドレスまたはドメイン名を入力し、Register をタップします。クラウド管理プラットフォーム登録は有効または無効にすることができます(機能を有効にした後に、ホワイトボードはクラウド管理プラットフォームに登録されます)</li> <li>2. クラウド管理プラットフォームに登録後、ホワイトボード上のファイルをクラウドプラットフォームにアップロードして保存し管理できます。なるタイプのファイルをアップロードできますが、フォルダはアップロードできません。</li> </ol>

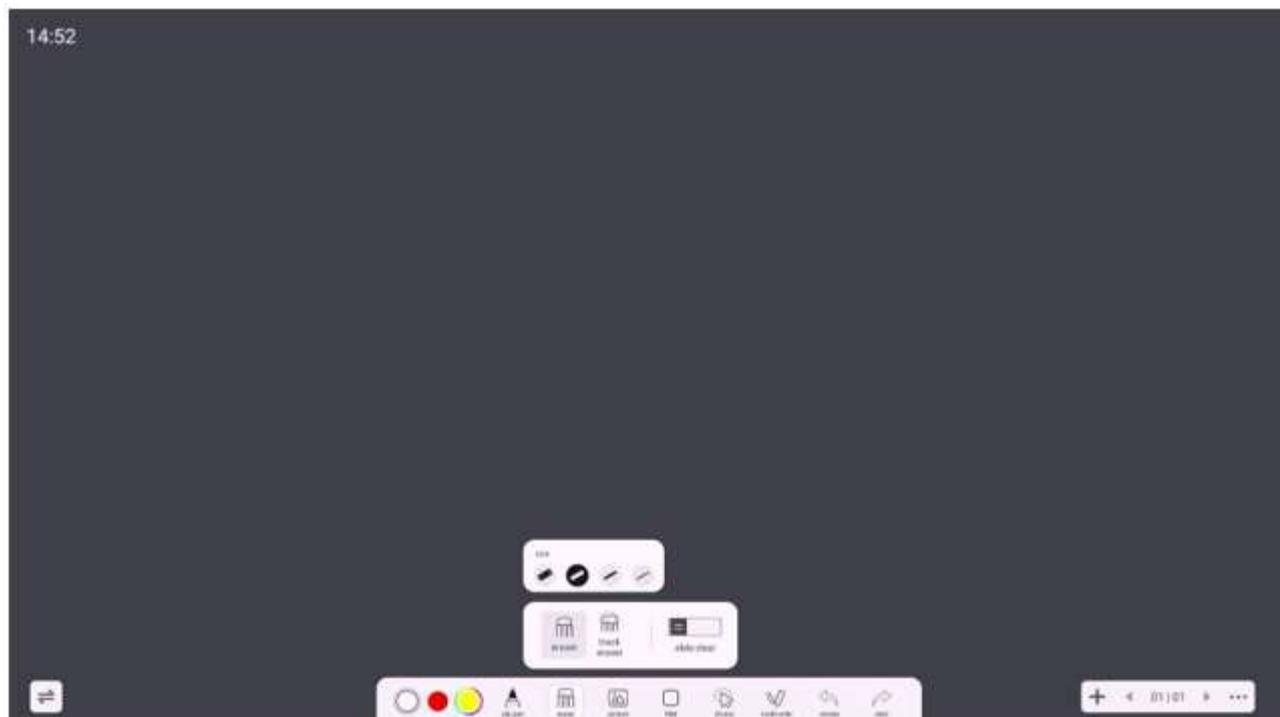
	<p>ファイルはzipファイルに圧縮されます。<b>Upload</b>をタップすると、直近3日間の会議のリストが表示されます。デフォルトはアップロード時点の会議です。その時点で会議が無ければ、デフォルトはその時点の直近の会議となります。</p>
<p>タイマー</p>	<p>このアイコンをタップすると、タイマー設定画面が表示されます。タイマーの開始または一時停止、タイマーの情報のフルスクリーン表示、タイマーのリセットができます(リセットはタイマーが一時停止のときのみ可能であり、初期状態00:00:00にリセットされます。)</p>

機能	説明
カメラ	<p>アイコンをタップして写真を撮影します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 組込のカメラはミラーリングをサポートします。</li> <li>● カウントダウン設定をサポートします。オフ、3秒(デフォルト)、5秒、10秒に設定できます。</li> <li>● <b>Import Whiteboard</b>をタップし、スクリーンショットをホワイトボードにインポートできます。</li> <li>● をタップすると、写真をローカルのデフォルトフォルダに保存できます。写真はデフォルトで年-月-日-時-分-秒.pngの名前になります。</li> <li>● QR共有をサポートします。</li> </ul>
エコ	この機能を有効にすると、バックライトの明るさが抑えられます。バックライトの明るさは手動または自動で調整できます。
スマートアイケア	<p>アイケア機能を有効または無効にします。</p> <p>この機能を有効にすると、ホワイトボードはブルーライトの強度を抑え、画面をアイケアモードに切り替えます。</p>
	スライダを動かしてバックライトの明るさを調整します。 <b>Auto</b> をタップすると自動調整機能を有効にします。ホワイトボードは環境に応じて明るさを自動調整します。
	スライダを動かしてボリュームを調整します。タップするとミュートになります。
タッチロック	このアイコンをタップすると、スクリーンのタッチコントロールが無効になります。電源ボタンを3回押すと、タッチロックが解除されます。
ロック画面	このアイコンをタップするとスクリーンがロックされます。
電源	ホワイトボードのシャットダウン・再起動、またはWindowsを終了します。

## 電子ホワイトボード

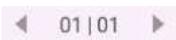
ホーム画面で **Whiteboard** をタップすると、ホワイトボードソフトウェアが起動します。スクリーン上に描画が可能です。

図2-5 電子ホワイトボード



ホワイトボードアイコンの説明

アイコン	説明
	<p>ホワイトボードツールバーの位置を調整します。</p>
	<p>ペンの色を選択またはカスタマイズします。</p>
	<p>ペンのタイプとサイズを選択します。</p>
	<p>内容を削除します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● eraserをタップして必要無い内容を消します。</li> <li>● track eraserをタップし、必要無い内容を囲んで削除します。</li> <li>● slide clearをタップしてスクリーンの全ての内容を削除します。</li> </ul>
	<p>このアイコンをタップすると、bmp、png、jpg、またはjpeg形式の画像を挿入できます。最大10個の画像を挿入できます。</p>
	<p>描画するグラフの形を選択します。</p>
	<p>スクリーン上の内容を選択して、ズームイン、ズームアウト、移動、または回転します。</p>
	<p>ズームモードと複数書き込みモードを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ズームモード:ひとつのポイントの書き込みだけをサポートします。キャンバスのズームインおよびズームアウトが可能です。</li> <li>● 複数書き込みモード: 2つのペンで同時に書き込むことができます。キャンバスのズームイン、ズームアウトはできません。</li> </ul>

	<p>前の操作を取り消します。最大20の操作を取り消すことができます。</p>
	<p>取り消した操作を再実行します。最大20の操作を再実行できます。</p>
	<p>ホワイトボードページを追加します。</p>
	<p><b>01   01</b> をタップして、保存されたファイルリストをプレビューします。ファイルをタップして編集します。複数のファイルを作成している場合、 または  をタップして前のファイルと次のファイルに切り替えます。切り替えたページのサムネイルを表示できます。</p>

このアイコンをタップすると、以下の操作が可能です。

- **New:**新しいホワイトボードファイルを作成します。新しいファイルを作成する前に、内容を保存することを忘れないようにしてください。そうしなければ、全ての変更が失われます。
- **Open:**保存されているファイルを開きます。ホワイトボードファイル形式のみを開くことができます。**Open**をタップ後、システムはファイル管理画面のホワイトボードファイルに移動します。
- **Change wallpaper:**ローカルの背景テンプレートまたはカスタムテンプレートを使用できます。



カスタムテンプレート: bmp、png、jpg、およびjpeg形式の画像のみがサポートされます。画像サイズは5MBまでです。推奨の画像の横縦比は16:9です。

- **Save:**ファイルを保存します。デフォルトのファイル名は年-月-日-時-分-秒です。ファイル名はカスタマイズできます。ファイルフォーマットはwbh(ソースファイルフォーマット)、pdf、pngを選択できます。デフォルトでソースファイルフォーマットが使用されます。

**Save as:**新しいファイルとして保存します。デフォルトのファイル名は年-月-日-時-分-秒です。ファイル名はカスタマイズできます。ファイルフォーマットはwbh(ソースファイルフォーマット)、pdf、pngを選択できます。デフォルトでソースファイルフォーマットが使用されます。

- **QR share:**ホワイトボードファイルをダウンロードします。
- **Quit:**ホワイトボードアプリを終了します。



変更を失わないよう、終了前に保存することを忘れないで下さい。

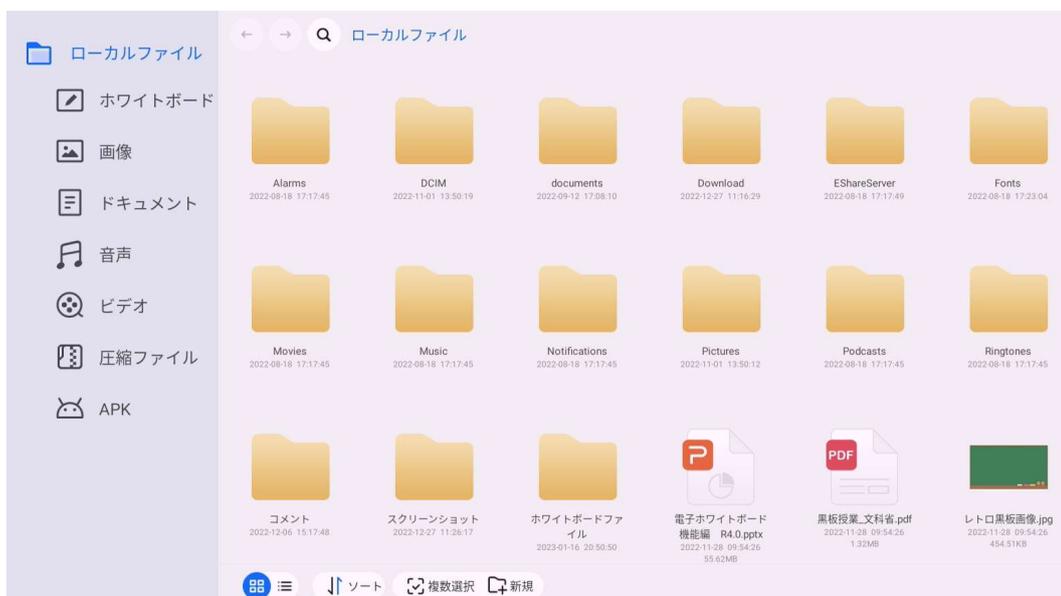
## ファイル管理

ローカルファイルおよび USB ドライブ上のファイルを管理します。

ホーム画面の **FileManager** をタップして、ホワイトボードファイル、画像、ドキュメントなどを表示します。

- ファイルまたはフォルダをタップし続けることにより選択します。
- ファイルまたはフォルダをダブルタップすることにより開きます。

図2-6 ファイル管理



### ファイル管理アイコン

アイコン	説明
	前または次画面のローカルファイルを表示します。
	検索するファイル名を入力します。
	ファイルをサムネイルまたはリスト形式で表示します。
ソート	ファイルを名前・サイズ・日時により、昇順または降順で並べ替えます。
複数選択	複数のファイルまたはすべてのファイルを選択できます。
新規	新しいフォルダを作成します。
コピー	ファイルまたはフォルダを選択し、 <b>Copy</b> または <b>Cut</b> をタップ後、 <b>Paste</b> をタップすることにより、ファイルまたはフォルダを貼り付けられます。
切り取り	
貼り付け	
削除	ファイルまたはフォルダを削除します。
名称変更	ファイル・フォルダ名を変更します。サフィックスは変更できません。

## スクリーン共有

ホワイトボードをスマートフォン、コンピュータ、タブレットからリモート制御し、内容をホワイトボードスクリーンに投影できます。

ホワイトボードとスマートフォン、コンピュータ、タブレットは、同一の LAN ネットワーク上に存在する必要があります。  
す。

ホームスクリーンで **ScreenSharing** をタップし、画面に表示される手順にしたがって設定を行って下さい。

図2-7 スクリーン共有



クライアントアプリをホワイトボードに接続すると、以下のことが可能です。

- 画像、音声および映像ファイル、ドキュメントをホワイトボードと共有できます。
- 画面をホワイトボードと共有できます。クライアントがインストールされた複数のデバイスの画面を同時にホワイトボードと共有できます。
- クライアントがインストールされたデバイスでホワイトボードをリモート操作できます。

## システム設定

ネットワーク設定、基本設定および詳細設定、その他の設定について説明します。

### ネットワーク接続の設定

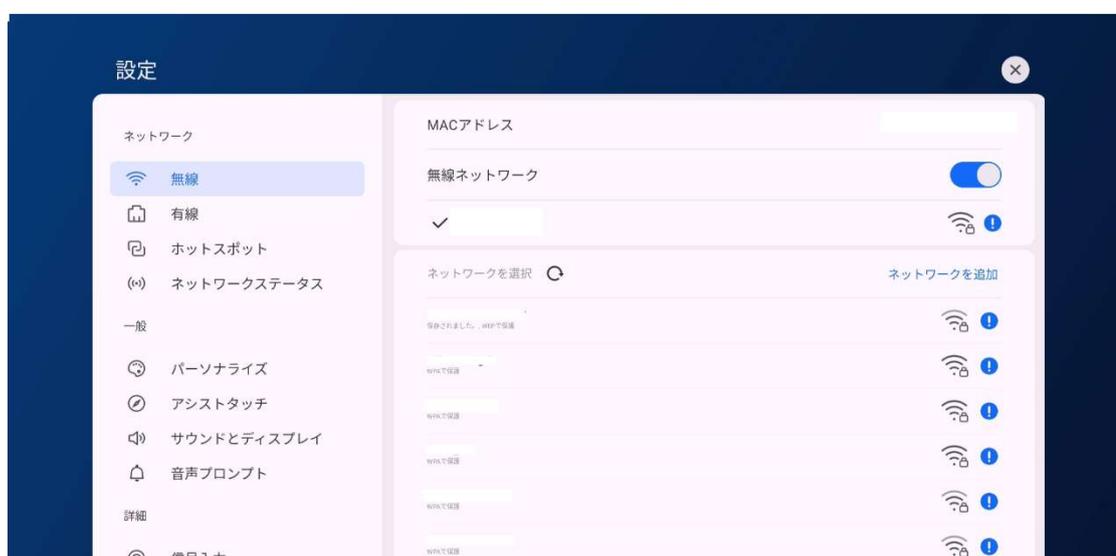
ホーム画面で **More > Settings** をタップし、ネットワーク設定を行います。

有線ネットワーク・ワイヤレスネットワークを使用できます。これらは同時には有効にできません。ホワイトボード



自身は、他のデバイスとネットワーク接続を共有するためのホットスポットとして機能します。

図2—8 ネットワーク



ネットワークパラメータ

パラメータ	説明
無線	<p><b>Wireless Network</b>を有効にすると、ホワイトボードは利用可能なWi-Fiネットワークに接続できます。ワイヤレスネットワークを追加するには、<b>Add Network</b>をタップし、SSIDネットワーク名とパスワードを入力します。その後、必要に応じて詳細な設定を行います。</p> <p>ワイヤレスネットワークに接続する際には、情報セキュリティ上、安全性の高い認証方式を用いることを推奨します。</p>
有線	<p>有線ネットワーク接続のパラメータを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● IPアドレスを自動で取得する:ネットワーク上にDHCPサーバが存在する場合、<b>Wired</b>を有効にすると、ホワイトボードは自動的に動的IPアドレスを取得します。</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ホワイトボードのIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSを手動で設定します。</li> </ul>
ホットスポット	<p><b>Hotspot</b>を有効にし、ネットワークSSIDを設定してパスワードを入力します。ホットスポット名、パスワード、暗号化方式、周波数バンド、その他の情報を表示できます。</p>
ネットワークステータス	<p>現在のネットワーク接続モード、IPアドレス、デフォルトゲートウェイ、サブネットマスク、DNSの情報を表示します。</p>

## 基本設定

ホーム画面で **More > 設定** をタップし、基本設定を行います。

図2-9 基本設定



### 基本設定の説明

パラメータ	説明
パーソナライズ	<p>背景画像を設定します。<b>Carousel</b>を有効にすると選択された背景画像を順番に使用し、ブート画面をカスタマイズできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デフォルトで8個の壁紙が入っています。</li> <li>壁紙をカスタマイズし、アップロード可能です。横縦比は16:9を推奨します。</li> </ul>
アシストタッチ	<p>コンパスを自動で非表示にする方式、および非表示にする方法(小さな円、または完全に非表示)を選択します。</p> <p></p> <p>コンパスを有効にした後、2本の指でダブルタップすると表示されます。</p>
サウンドとディスプレイ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボリュームを調整します。ボリュームが0の場合はスクリーンの左下にサインが表示されます。</li> <li>サウンドイフェクトとして<b>Standard</b>、<b>Music</b>、<b>Meeting</b>、<b>Theater</b>を選択できます。</li> <li>明るさは自動または手動で調整できます。</li> </ul>
音声プロント	<p>4つのトーンがデフォルトで入っています。Add Audioをタップして外部から音声を追加します。最大10個の音声ファイルを追加できます。各ファイルのサイズは500KB以下である必要があります。</p>

## 詳細設定

ホーム画面で **More** > **設定** をタップし、詳細設定を行います。

図2-10 詳細設定



## 詳細設定の説明

パラメータ	説明
信号入力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デフォルトスタートアップチャンネル起動時に有効になるチャンネルをカスタマイズします。</li> <li>● :システム起動時に常に開かれるアプリを選択します。</li> <li>● 信号が検出されました。:             <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自動検出:シグナルソースに接続し、対応するチャンネルに自動的にリダイレクトします。</li> <li>◇ ポップアップウィンドウ:シグナルソースに接続時に、ポップアップウィンドウが表示され、接続されたソースチャンネルに移動するかどうかを選択します。</li> </ul> </li> <li>● チャンネル名をカスタマイズ: チャンネル名をカスタマイズします。名前を変更後、システム全体の対応するチャンネル名は同期して変更されます。</li> </ul>
デバイス管理	カメラ、マイク、スピーカーの情報を表示します。
RS-232 制御	<b>RS-232 制御</b> を有効にし、ホワイトボードをRS-232トランスペアレント デバッグ シリアルポートに接続します。デバイス間のデータ通信をサポートします。

## システムパラメータの設定

ホーム画面で **More > Settings** をタップし、システムパラメータを設定します。

図2—11 システムパラメータ



システムパラメータの説明

パラメータ	説明
日時	<p>日付と時刻を自動または手動で設定します。日付と時刻の表示形式およびタイムゾーンを設定できます。</p> <p>時刻の自動同期を有効にすると、システム時刻はサーバー時刻と同期されます。無効にした場合、手動で日付と時刻を設定する必要があります。</p>
言語とキーボード	<p>システムの言語と入力方法を選択します。</p>
電源状態	<p>ホワイトボードの起動とシャットダウンの機能を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● スタートアップオプション:電源オン時にスタンバイ、電源オン時に起動</li> <li>● 画面オフ:常時オン、および、1分間・5分間・10分間操作が無い場合のスクリーンオフから選択できます。1分～60分のカスタム設定も可能です。</li> <li>● スケジュールされたスタートアップ/シャットダウン(最大10プラン)をタップし、システムを自動でオンまたはオフにする時刻を設定します。をタップしてプランを削除します。</li> </ul>

<p>システム セキュリティ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PNコード:有効にすると、パスワードでホワイトボードをアンロックできます。</li> <li>● パターン有効にすると、パターンを描くことでホワイトボードをアンロックできます。</li> <li>● ロック画面:タップした後、スクリーンロックのオプションを選択します。1分間・5分間・10分間の無操作から選択できます。カスタム設定も可能です。</li> <li>● タッチロック:有効にすると、スクリーンのタッチコントロールが無効になります。電源ボタンを3回押すと解除されます。</li> <li>● USB 権限:無効にすると、システムはUSBデバイスのアクセスを検知しません。</li> </ul> <p></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● パターンパスワードとデジタルパスワードの同時使用はサポートされていません。</li> </ul>
<p>工場出荷時状態</p>	<p>工場出荷をタップすると、全ての操作記録と保存されたコンテンツは削除されます。ホワイトボードは工場出荷時設定に戻ります。</p>
<p>ユーザー規約</p>	<p>プライバシーポリシー、ソフトウェアライセンス契約、オープンソース契約を表示します。</p>
<p>システムアップデート</p>	<p>現在のシステムバージョンを表示します。ホワイトボードがネットワークに接続されている場合、アップデートの確認をタップすると新しいバージョンが利用可能かどうかを確認できます。</p>
<p>製品について</p>	<p>MACアドレス、シリアル番号、デバイス名(編集可能)、動作メモリ、ストレージ空き状況、解像度、システムバージョン、Androidバージョン、セキュリティベースラインバージョンを表示します。</p>

## 4. シャットダウン

ホワイトボードがオンの時に、電源ボタンを 5 秒間押し続けると、ホワイトボードをシャットダウンするかどうか確認するメッセージが表示されます。OK をタップするとホワイトボードがシャットダウンします。



ホワイトボードはコンピュータモジュールへの電源オフ保護を提供しています。ホワイトボードをシャットダウン後、コンピュータモジュールはしばらくしてからシャットダウンします。